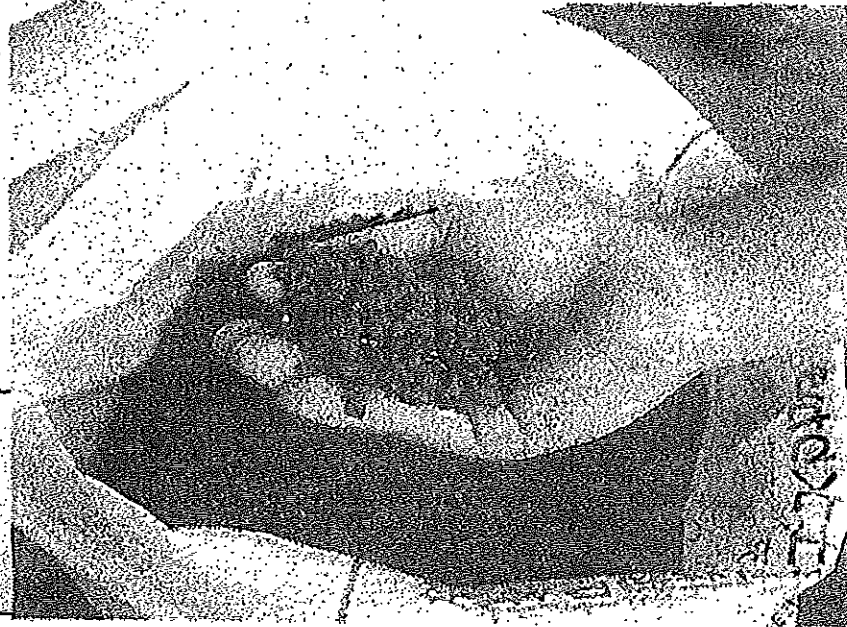


身延町の峡南衛生組合(遠藤稔所長)が製造、販売している、土壌改良などに役立つ発酵肥料「峡南1号スペシャル」の売れ行きが好調だ。2010、11年度の年間生産量は両年度とも約45トンで、組合は「在庫がほぼない状態が続いている。質のいい農産物が育つのが人気の理由では」としている。

生ごみ活用肥料が人気

峡南衛生組合開発「質いい作物育つ」



峡南

好調な売れ行きを維持している「峡南1号スペシャル」

峡南1号スペシャルは、2008年から同組合が販売している生ごみを使用した「肥「峡南1号」に、土壌改良に効果があるEM菌を混ぜた脱水汚泥をブレンドした発酵肥料。ペレット状に固めてあり、亜鉛やリンを多く含んでいるのが特徴。生ごみや、し尿処理施設から出る脱水汚泥を焼却処分せずに再利用することで、二酸化炭素の発生を抑えようと開発した。10年7月から販売している。

価格は一袋(10kg)500円で、10年度は4015袋、11年度は4020袋を売り上げた。身延、早川、市川三郷町内で野菜や果物などを生産、自

家消費している高齢者らが購入するケースが目立ち、「味のいい野菜ができる」「収穫量が増えた」といった声が寄せられるという。組合は今後、人員の補充や施設の整備などを行い、年間生産量を90トンほどに増やすことを検討中。遠藤所長は「化学肥料を使っていないので、環境だけでなく体にも優しい。おいしい農産物がたくさん採れば、高齢者も楽しく栽培でき、生きがいになるはず」としている。